

## 1-5. 国際競争力強化に向けた取り組み

1970年代以降、

- ・鉄鋼寡消費型経済への移行
- ・円高の進展 (特にプラザ合意以降)
- ・他製鉄国 (特に韓国、中国) の伸長
- ・国際マーケットの中での販売価格下落

長年に亘って国際競争力喪失、  
収益力低下につながりかねない  
環境変化に見舞われた。

各時期の経営計画において  
あらゆる視点から、国際コスト競争力強化を目指して改革を推進

- ・鉄鋼需要にマッチする設備構造・人員構造の追求
- ・経営効率向上・業務運営革新の追求
- ・生産性向上 (技術革新による持続的省力化、等) の追求
- ・先端商品・技術開発の追求